

令和5年度 決算説明書 / 事業評価シート

企業会計名	決算書(P)	部局名	都市整備部
水道事業会計	-	課 名	水道課

I：事業概要

施策事業名	水道事業 収益的収支事業
事業目的	水道使用者に安心・安全な水道水を安定供給する。
事業内容	●主な事業内容 ○原水及び浄水費 657,322,453円 ・主に水道水の製造等に要する費用及び浄水場等の維持管理費 ・県営水道受水費、浄水場運転管理業務委託 等 ○配水及び給水費 74,626,778円 ・主に水道管等の維持管理費 ・給配水管等修繕、量水器取替業務委託 等 ○受託工事費 3,006,809円 ・主に消火栓等修繕、下水道関連切廻し工事 等 ○総係費 112,224,156円 ・主に料金調定・徴収及び一般事務費 ・料金徴収業務等委託 等 ○減価償却費 333,231,761円 ・固定資産減価償却費 ○資産減耗費 24,144,923円 ・主に固定資産除却費 等 ○営業外費用 38,874円 ・その他雑支出 ○特別損失 525,937円 ・過年度損益修正損
事業の成果・効果	水道水を市内全域（給水戸数31,644戸）に対し、年間約902万立方メートルを給水した。 水道使用者に安全で良質な水道水を安定的に供給できるように、浄水場施設や水道管の維持管理をおこなった。

II：個別事業内訳 (単位：千円) (見直し・点検進捗評価は4段階)

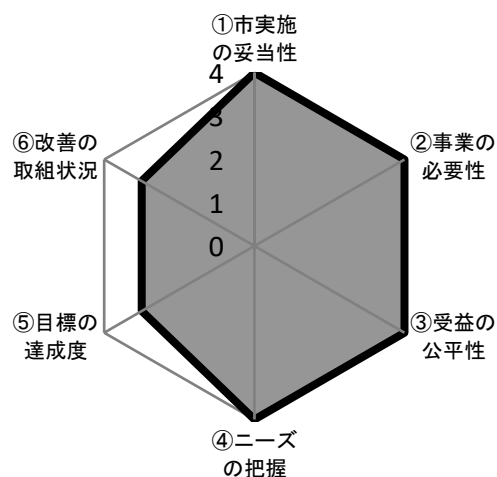
事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務適正化
原水及び浄水費	657,322	657,322	0	0%	4	3	3
配水及び給水費	74,627	74,627	0	0%	3	3	3
受託工事費	3,007	3,007	0	0%	4	2	3
総係費	112,224	112,224	0	0%	3	3	3
減価償却費	333,232	333,232	0	0%	4	2	4
資産減耗費	24,145	24,145	0	0%	4	2	4
営業外費用・特別損失・予備費	565	565	0	0%	4	2	4
合計	1,205,122	1,205,122	0	0%	3	2	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R4決算	R5決算	R6予算
		1,182,285	1,205,122	1,275,074
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	1,182,285	1,205,122	1,275,074
	一般財源	0	0	0
一般財源の割合		0%	0%	0%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	水道法第6条により市で実施。
②事業の必要性	4	市民の生活に欠かせない水を供給する事業であり、継続実施が必須の事業である。
③受益の公平性	4	ほぼすべての市民が恩恵を受ける事業である。
④ニーズの把握	4	市民が生活を営む上で必ず必要で、ニーズはある。
⑤目標の達成度	3	年間を通じ安定した給水を行い、給水量は予定水量比△1.3%で、収入は予算比△3.7%となった。
⑥改善の取組状況	3	物価高騰に直面する生活者・事業者の負担軽減のための支援策として、水道基本料金の免除を8ヶ月間実施した。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和5年度に見直しを実施した事項	・物価高騰に直面する生活者・事業者の負担軽減のための支援策として、水道基本料金の免除を8ヶ月間実施した。
令和6年度に見直しを実施している事項	・犬山市水道事業の現状および課題を把握し、より詳細な水需要の予測を行い、将来の収支見直しを行う。 ・資金の運用（債権購入）による収入確保（貸付利息）に努める。
今後見直しを検討する事項	・水道広域化研究会に引き続き参加し事務の共同化の勉強会等を通じて効率的な業務運営を目指していく。 ・令和7年度に行う水道事業経営戦略の改訂時において、現在の水道料金体系のあり方の検証を行う。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和5年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
・節水や人口減少の傾向により、家事用の給水収益が減少していくことが見込まれる。 ・県営水道の料金改定等による費用の増加が見込まれる。 ・常に安定した給水を行うため、管路及び浄水施設の維持修繕を行う必要がある。	・業務用水道料金の収入確保に努める。 ・県営水道の料金改定等による営業費用の増加を反映した収支見直しを行い、令和7年度に行う水道事業経営戦略の改訂時において、現在の水道料金体系のあり方の検証を行う。 ・漏水箇所の早期発見と浄水施設の適切な維持補修を行い、安全安心な水道水を安定的に供給していく。

令和５年度 決算説明書 / 事業評価シート

企業会計名	決算書 (P)	部局名	都市整備部
水道事業会計	-	課 名	水道課

I：事業概要

施策事業名	水道事業 資本的収支事業
事業目的	水道使用者に良質な水道水を安定的に供給し、また、災害時においても常に安定して給水ができるように、耐震化も含め、市内に張り巡らされた水道管の布設替及び浄配水施設の改修等を実施する。
事業内容	●全体計画 ○市内に張り巡らされた水道管及び浄配水施設の設備更新等を実施 ●主な事業内容 ○施設増補改良費 549,641,771円 ・主に配水管布設替及び浄配水施設の更新・改良 ・配水管布設替工事 富岡新町 L=約540m 楽田鶴池 L=約290m 羽黒新田米野前 L=約550m 他市内各所で布設替工事を実施 ・消火栓設置工事 ・給水申込関連布設工事 ・遠方監視装置更新工事 ・白山浄水場浄水濁度計更新工事 等 ○営業設備費 1,122,890円 ・主に取付用量水器 等
事業の 成果・効果	配水管等改良事業においては、富岡新町、羽黒新田米野前をはじめとした市内各所で配水管の布設替及び布設工事を実施した。 令和５年度の配水管等の改良延長は、約4.3キロメートル実施した。 配水管等の布設替及び布設工事にあたっては、耐震性のある管材を使用し、耐震化を図った。 浄配水施設においては、遠方監視装置更新工事、白山浄水場浄水濁度計更新工事等を行った。

II：個別事業内訳 (単位：千円) (見直し・点検進捗評価は４段階)

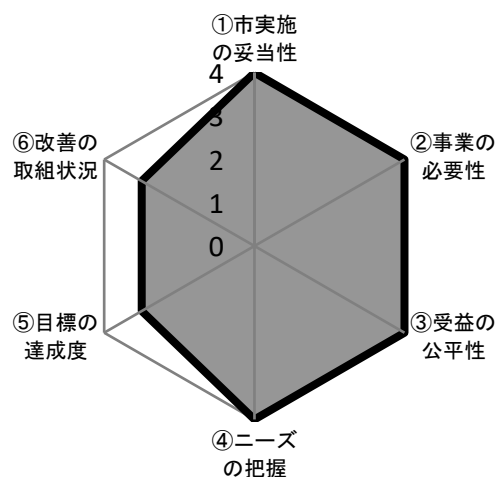
事業名	決算額	財源内訳		一般財源 の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信 ・共有化	業務適正化
施設増補改良費	549,642	549,642	0	0%	3	3	3
営業設備費	1,123	1,123	0	0%	4	2	4
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	550,765	550,765	0	0%	3	2	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R4決算	R5決算	R6予算
		598,218	550,765	785,358
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	598,218	550,765	785,358
	一般財源	0	0	0
一般財源の割合		0%	0%	0%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	水道法第6条により市で実施。
②事業の必要性	4	市民の生活に欠かせない水を供給する事業であり、継続実施が必須の事業である。
③受益の公平性	4	ほぼすべての市民が恩恵を受ける事業である。
④ニーズの把握	4	市民が生活を営む上で必ず必要で、ニーズはある。
⑤目標の達成度	3	配水管等の改良延長については、目標値の7.5kmに対し、約4.3kmの実績となった。有収率については、前年実績を2.1%下回った。
⑥改善の取組状況	3	浄水施設の耐震化を図るため、第2加圧所の耐震化工事に着手した。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和5年度に見直しを実施した事項	- 管路更新計画に基づき、羽黒浄水場への県水バックアップ管の改良をはじめとする重要箇所の新設を進め、配水管網の健全性を維持して水道水の安定供給に努めた。 - 浄水施設の耐震化を図るため、第2加圧所の耐震化工事に着手した。
令和6年度に見直しを実施している事項	- 資産の現状と将来の更新需要を明らかにするアセットマネジメントを策定し、将来10年間の具体的な水道施設の整備計画を策定する。 - 収入確保のため、資金の運用(債権の購入)を行う。
今後見直しを検討する事項	引き続き自己水系の有効活用を図るため、給水区域の見直しを検討する。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和5年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
常に安定した給水が行えるようにするためには、管路及び浄配水施設の更新を継続して行う必要がある。	将来の水需要の動向等を踏まえた水道施設等の整備計画を策定し、投資水準を平準化しつつ、継続的な更新投資を行い、市民に安全安心な水道水を安定的に供給していく。